



---

## auロゴガイドライン

- 22/03/25 第1稿
- 23/03/29 スローガン付きブランドロゴの使用方針\_文言修正
- 23/04/01 縦書きから、横書きへ変更
- 23/12/25 不要事項を削除
- 24/01/22 au ビジュアル・アイデンティティの規約に準拠
- 24/05/01 スローガンつきブランドロゴの使用方針追加
- 24/09/30 全ロゴ共通\_使用禁止例\_一部修正
- 25/03/14 P.16 モーションロゴ使用時の留意事項 [ページ追加]  
P.18 全ロゴ共通\_使用禁止例\_一部修正・追記  
P.19 全ロゴ共通\_背景色の禁止例\_一部修正  
P.21 全ロゴ共通\_他社との協業やコラボの関係性を示す際の表記方法 [ページ追加]  
P.22 全ロゴ共通\_協賛案件へのブランド表記におけるロゴ使用とワード選択の考え方について [ページ追加]

auロゴガイドラインでは、「au」マークを「ブランドロゴ」として定め、全ての媒体においてブランドシンボルとしての尊厳性を守りながら、統一的に活用するためのルールを説明しています。

基本デザイン要素は、auの価値をシンボライズした最高位のデザイン要素であり、ブランドロゴ「au」、ブランドカラーで構成されます。ブランドの信頼性を保つためには、あらゆる媒体で統一的に、効果的に展開することが必要です。

ブランドロゴをルールに則り正しく活用し、ひと目見て「auらしい」とお客さまに感じて頂けるビジュアルを作成することによる、ブランドイメージの統一・向上を図りましょう。

なお、ブランドロゴの使用にあたって不明な点が生じた場合は、以下までお問い合わせください。

2022年3月

KDDI 株式会社

ブランドマネジメント部

1

**ブランドロゴの種類と定義**

- 05 ブランドロゴの種類と使用優先順位
- 06 スローガン付きブランドロゴの使用方針
- 07 正式なスローガン表記

2

**auロゴに関する定義の詳細**

- 09 全ロゴ共通\_\_ブランドカラーについて
- 10 ①スローガン付きブランドロゴ
- 11 ②スローガンのセパレート利用について
- 12 ③ブランドロゴ
- 13 保護領域と最小使用サイズ (ブランドロゴ)
- 14 保護領域 (スローガン付きロゴ)
- 15 最小使用サイズ (スローガン付きロゴ)
- 16 モーションロゴ使用時の留意事項

3

**禁止事項と各種制作表現規定**

- 18 全ロゴ共通\_\_使用禁止例
- 19 全ロゴ共通\_\_背景色の禁止例
- 20 全ロゴ共通\_\_背景色との関係
- 21 全ロゴ共通\_\_他社との協業やコラボの関係性を示す際の表記方法
- 22 全ロゴ共通\_\_協賛案件へのブランド表記におけるロゴ使用と  
ワード選択の考え方について

## ブランドロゴの種類と定義

- 05 ブランドロゴの種類と使用優先順位
- 06 スローガン付きブランドロゴの使用方針
- 07 正式なスローガン表記

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

ブランドロゴには、スローガンの有無に加え、ポジティブ表示、ネガティブ表示があります。使用優先順位の考え方を記載しています。

ルールに則り、適切な使用をお願いいたします。

使用優先順位	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>優先度高</span> <span>優先度低</span> </div>	
ロゴの種類	<p style="text-align: center;">スローガン付きブランドロゴ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>auオレンジ ポジティブ表示</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>auオレンジ ポジティブ表示</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>モノクロ ポジティブ表示</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>モノクロ ネガティブ表示</p>  </div> </div>	<p style="text-align: center;">ブランドロゴ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>auオレンジ ポジティブ表示</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>auオレンジ ポジティブ表示</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>モノクロ ポジティブ表示</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>モノクロ ネガティブ表示</p>  </div> </div>
	<p>auブランドの核として原則的にauオレンジのポジティブ表示を使用する。制限がありモノクロ表示にする場合は、黒を使用する。</p> <p>背景色の関係でauオレンジのポジティブ表示では視認性が悪くなる場合も、極力背景色を調整し優先的にauオレンジのポジティブ表示を使用する。</p>	

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

ブランドロゴに、ブランドスローガン「おもしろいほうの未来へ。」を併記したロゴです。ブランドスローガンを示す場合は、特別な場合を除きこのロゴを使用してください。基本は“縦組み”ですが、使用目的や使用箇所に合わせて“横組み\_標準”や“横組み\_スローガン大”も使用可能です。表示カラーについてはauロゴ単体の使用に準じてください。スローガンの文言追加、一部削除、書体変更などの改変は不可です。

### 縦組み

おもしろいほうの未来へ。





### 横組み\_標準

おもしろいほうの未来へ。 

### 横組み\_スローガン大

おもしろいほうの未来へ。 

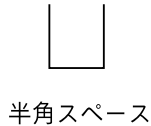
表示媒体	ロゴの種類	スローガン付きブランドロゴ <small>おもしろいほうの未来へ。</small> 	ブランドロゴ 
ポスター		●	
告知媒体（雑誌・新聞・OOH等）		●	
バックパネル		●	
単独協賛		●	
複数社による協賛		●	
発表会・展示会、イベント		●	
総合カタログ、サービス/メーカーカタログ等		●	
ダイレクトメール、封筒		●	
販促ノベルティ		●	
TV・動画等		●	
WEBページ・WEBページバナー		●	
プレゼンテーション資料		●	
自社使用アイテム（衣装、作業着、ヘルメット等）		●	
端末・周辺機器・取扱説明書			●
申込書、請求書、契約書			●
看板・什器（使用場所等によって判断）		●	●
施設・設備			●
他社制作物（販売代理店を含む）			●
auスクエアロゴ			●
その他出所表示をすべきもの			●

実際の使用の際は、ブランドマネジメント部にご相談ください。

### ■ スローガンの表記ルール

スローガンを、文章中などでテキストで表記する場合、  
下記のルールに基づき正しく表記してください。

おもしろいほうの未来へ。 au



半角スペース

#### 禁止事項

おもしろいほうの未来へ。 AU

大文字、小文字の表記が異なるため。

おもしろいほうのみらいへ。

全てをひらがな表記にしてはならないため。

# 2

---

## auロゴに関する定義の詳細

- 09 全ロゴ共通\_\_ブランドカラーについて
- 10 ①スローガン付きブランドロゴ
- 11 ②スローガンのセパレート利用について
- 12 ③ブランドロゴ
- 13 保護領域と最小使用サイズ (ブランドロゴ)
- 14 保護領域 (スローガン付きロゴ)
- 15 最小使用サイズ (スローガン付きロゴ)
- 16 モーションロゴ使用時の留意事項



auのブランドイメージを统一的に表現していく上で、ブランドカラーは効果的な役割が期待できる重要な要素です。

必ずブランドカラー（auオレンジ）の規定を遵守し、十分な色校正を行って忠実な再現を心がけてください。

### ■ ブランドカラー（auオレンジ）



PANTONE : 166C

CMYK : C0+M80+Y100+K0

RGB : R235, G85, B5

正しい「ブランドカラー」を再現するために、以下の運用をお願いいたします。

#### [印刷物・ノベルティなどインクを使うもの]

特色が使える場合は、必ず「PANTONE 166C」インクを使用の上、発注先においてカラーチップ（色見本）による色校正を徹底してください。

#### [WEB]

ディスプレイの種類や設定、角度など、閲覧者の環境により色のばらつきが出るのはやむをえませんので、制作者は必ずRGB(R235, G85, B5)を遵守してください。カラーチップによる色校正は必要ありません。

#### [カラーチップの配布について]

上記の運用を徹底するため、制作物の発注が必要な部署に「auオレンジ」のカラーチップを配布いたします。カラーチップが必要な場合は、使用用途と併せてブランドマネジメント部までご連絡ください。

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

ブランドロゴに、スローガン「おもしろいほうの未来へ。」を併記したロゴです。

スローガンを示す場合は、特別な場合を除き、このロゴを使用します。

基本は“縦組み”ですが、使用目的や使用箇所に合わせて“横組み\_標準”や“横組み\_スローガン大”も使用可能です。

縦組み

おもしろいほうの未来へ。

*au*

横組み\_標準

おもしろいほうの未来へ。 *au*

横組み\_スローガン大

おもしろいほうの未来へ。 *au*

---

縦組み

おもしろいほうの未来へ。

*au*

横組み\_標準

おもしろいほうの未来へ。 *au*

横組み\_スローガン大

おもしろいほうの未来へ。 *au*

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

### ■ 紙面の場合

特別な場合を除きスローガン付きロゴを使用しますが、ブランド訴求上有効と認められる場合のみ、スローガンのセパレート利用も可能です。セパレート利用する場合も同一画面上にauロゴが表示されている必要があります。また、スローガンのサイズも“横組み\_スローガン大”のロゴ、スローガンの比率を100%とし、スローガンの拡大率は最低100%、最大250%を上限としてください。実際のスローガンのセパレート利用についてはブランドマネジメント部と相談・協議の上判断してください。

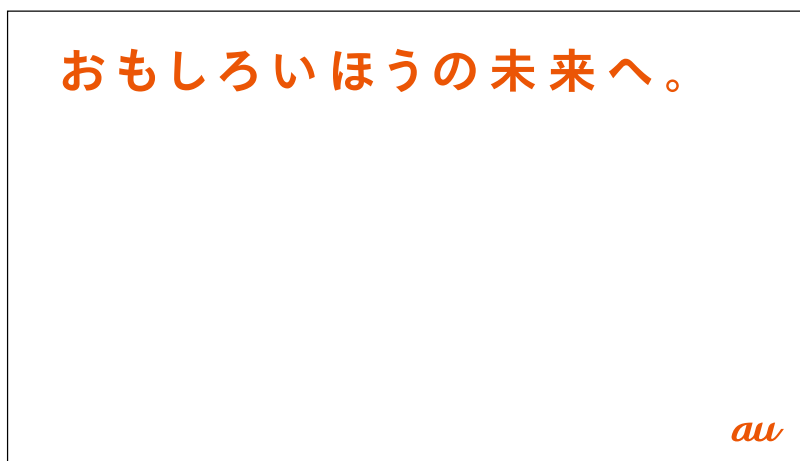
セパレート利用時の最小スローガンサイズ  
横組み\_スローガン大のロゴとスローガン比率から100%

横組み\_スローガン大100%  
おもしろいほうの未来へ。 *au*



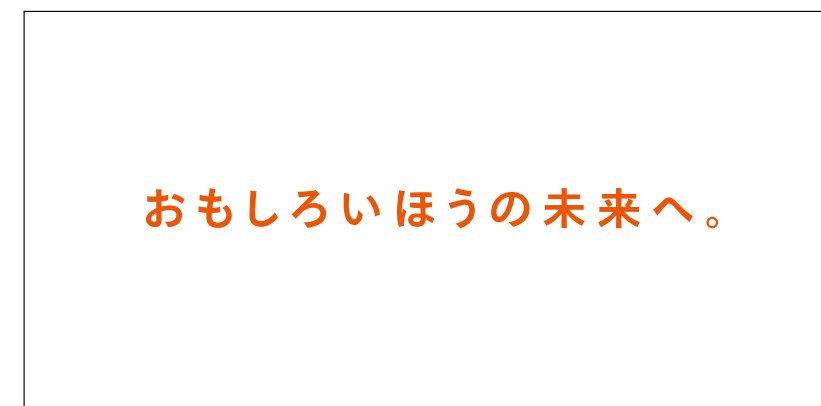
セパレート利用時の最大スローガンサイズ  
横組み\_スローガン大のロゴとスローガン比率から250%

横組み\_スローガン大100%  
おもしろいほうの未来へ。 *au*



### ■ 動画の場合

動画でのセパレート利用の際は、連続したカットで使用するようにしてください。



#### 注意事項

一紙面（WEBや動画では1画面）につき、原則1つのブランドロゴを使用します。例外的に複数のブランドロゴを使用する場合は、必ずブランドマネジメント部にご相談ください。

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

#### ■ ポジティブ表示（基本）

「au」のブランドロゴは、auブランドの核となる要素であり、最優先に使用する基本形です。使用する場合は、ブランドカラー（auオレンジ）などの規定を遵守し、必ず電子データを使用して、忠実に再現してください。



#### ■ モノクロ表示

ポジティブ表示（基本）以外に、印刷の都合や表示アイテムの性格、表示の目的によっては、下に示したモノクロでの表示も可能です。



#### ■ ネガティブ表示

ポジティブ表示では視認性が悪く、背景の調整も不可能な場合は、ブランドマネジメント部に相談の上、ネガティブ表示を使用します。



#### 注意事項

一紙面（WEBでは1画面）につき、原則1つのブランドロゴを使用します。

例外的に複数のブランドロゴを使用する場合は、必ずブランドマネジメント部にご相談ください。

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

## ■ 保護領域について

auロゴの表示は独立性、識別性を持って行うことが重要です。そのため、auロゴを表示する際には、その周辺に一定の保護領域(余白)を設けています。原則としてこの領域内には、他のデザイン要素や文字などを表示してはいけません。基本は“保護領域大”を使用し、表示領域に制約がある場合のみ“保護領域小”を使用してください。具体的な表示にあたっては、可能な限り大きな保護領域(余白)を設けるように配慮してください。

## ■ 最小使用サイズ

表示環境や表示条件の制約がない場合、原則として、紙面の場合は幅6mm以上、WEB/モニタの場合は幅34px以上で使用してください。各種ロゴを表示する場合は、ここに示した数値以上の保護領域(余白)を確保してください。

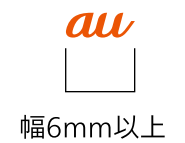
### ・ 保護領域大



### ・ 保護領域小



### ・ 紙面での最小使用サイズ



### ・ WEBやモニタでの最小使用サイズ



本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

・保護領域大\_縦組み



・保護領域小\_縦組み



・保護領域大\_横組み\_標準



・保護領域小\_横組み\_標準



・保護領域大\_横組み\_スローガン大



・保護領域小\_横組み\_スローガン大



本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

## ■ 最小使用サイズ

表示環境や表示条件の制約がない場合、原則として、紙面の場合は縦組み幅23mm以上、横組み\_標準幅35mm以上、横組み\_スローガン大 幅36mm以上、WEB/モニタの場合は幅縦組み幅90px以上、横組み幅135px以上、横組み\_スローガン大 幅204px以上で使用してください。

縦組み

横組み\_標準

横組み\_スローガン大

・ 紙面での最小使用サイズ

おもしろいほうの未来へ。



幅23mm以上

おもしろいほうの未来へ。 *au*



幅35mm以上

おもしろいほうの未来へ。 *au*



幅36mm以上

・ WEBやモニタでの  
最小使用サイズ

おもしろいほうの未来へ。



幅90px以上

おもしろいほうの未来へ。 *au*



幅135px以上

おもしろいほうの未来へ。 *au*



幅204px以上

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

- ・2秒Verは2秒以上、5秒Verは5秒以上の表示時間を確保して使用する。
- ・保護領域や背景色は、通常のauロゴの規定に従って使用する。
- ・モーションロゴと通常のauロゴを同一画面に同時に使用してはならない。
- ・同一動画内でのモーションロゴの使用は1回まで。
- ・モーションロゴのデータの改変をしてはならない。
- ・使用箇所は動画の冒頭でもエンドカットでも可。



## 禁止事項と各種制作表現規定

- 18 全ロゴ共通\_\_使用禁止例
- 19 全ロゴ共通\_\_背景色の禁止例
- 20 全ロゴ共通\_\_背景色との関係
- 21 全ロゴ共通\_\_他社との協業やコラボの関係性を示す際の表記方法
- 22 全ロゴ共通\_\_協賛案件へのブランド表記におけるロゴ使用とワード選択の考え方について

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

auロゴの独立性確保、ロゴイメージの統一を目的として、以下を使用禁止とします。

一貫したブランドコミュニケーション展開を行うためにも、ロゴの誤用は避けるようお願いします。

 <p>変形してはならない。 (縦横比率を変えてはならない。)</p>	 <p>フチドリで表示してはならない。</p>	 <p>ロゴの外側に、ぼかしをつけてはならない。</p>		
 <p>不適切な解像度や識別性を損なう表示をしてはならない。</p>	 <p>立体的な表示や影をつけてはならない。</p>	 <p>斜めに表示してはならない。</p>		
 <p>表示色を変えてはならない。</p>	 <p>表示スペースの端から、表示してはならない。</p>	 <p>ブランドロゴとスローガンを近接させて使用する場合、規定以外の配置をしてはならない。</p>	 <p>ブランドスローガンの書体を変えてはならない。</p>	
 <p>保護領域の外であっても、デザイン要素の一部としてロゴを使用してはならない。</p>	 <p>ロゴと枠を一体化させてはならない。</p>	 <p>他のロゴやイラストと一体に見える組み合わせをしてはならない。</p>	 <p>規定以外の連続表示をしてはならない。</p>	 <p>文章中にロゴを使用してはならない。ただし、イベント名称へのロゴ使用は可。 ※ブランドマネジメント部への事前相談は必要。</p>
<p>consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercita-</p>  <p>識別性を損なう煩雑なパターンの上に、表示してはならない。</p>	 <p>金型、造形物において、スローガンの文字の再現が困難な場合はスローガン付きロゴを使用してはならない。</p>	 <p>ブランドスローガンのセパレート利用において、p11で定められた使用サイズの比率を逸脱してはならない。</p>	 <p>規定以外の組み合わせをしてはならない。</p>	

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

auロゴは、原則として  
白い背景にauオレンジで表示してください。







一方、背景色が濃い場合、または写真などの使用においてauロゴの視認性が担保できない場合は、極力背景の調整を行いauロゴをポジティブ表示で使用できるようにしてください。ポジティブ表示では視認性が悪く、背景の調整も不可能な場合は、ブランドマネジメント部に相談の上、ネガティブ表示を使用します。 **p20「全ロゴ共通\_\_背景色との関係」も併せてご確認ください。**



<p>良い例</p>	<p>写真・イラスト等において、ブランドロゴが識別できる場合は、auオレンジで表示してください。</p> 	<p>視認性が悪い背景色の場合は、画面上部に白帯をとって表示することもできます。</p>  	
<p>禁止の例</p>	<p>ブランドロゴがauオレンジで再現できる場合は、視認性が良くても別の色で表示してはいけません。 (無彩色を含む)</p> 	<p>写真・イラスト等において、ロゴの視認性が低い場合は、表示してはいけません。</p> 	<p>ブランドロゴの識別性が悪くなる背景色の上に、表示してはいけません。</p> 

ブランドロゴは、白地の背景に表示することを原則としますが、表示物自体が着色されていたり、また目的によってあえて背景を着色している場合があります。ブランドロゴの表示色は、背景色によっては視認性が大きく損なわれる場合もあり、十分配慮しなければなりません。ブランドロゴを使用する際は、原則的にauオレンジを使用し、右図を参考の上視認性を確保してブランドロゴが最も効果的に映るデザインを検討してください。

■ ブランドロゴ（スローガン付きでも同様）

	0%	8%	25%~	40%~	66%~	80%~
推奨 						
使用禁止 						
						

ブランドロゴは原則的にauオレンジのポジティブ表示を使用します。

ブランドロゴをauオレンジで表示した際、背景とのコントラスト比が2:1を下回る背景色は使用禁止です。

また、webやアプリでの表示の際はアクセシビリティを考慮し、より高いコントラスト比を確保してください。(3:1以上)

ネガティブ表示を使用しなければならない場合は、ブランドマネジメント部にご相談ください。

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

他社との協業やコラボ等の関係性を示す際は「×」又は「|」を使用してください。

何らかの事情により記号が使用できない場合は、記号なしで併記可能です。

その際、提供主体となる側の企業を原則、左側に配置してください。

ただし、当社ロゴとグループ会社ロゴを併記する場合は企業間の関係性(親子関係)を考慮し、「×」「|」ではなく記号なしの併記としてください。(例:共同発信のプレスリリース等)

他社との協業やコラボを表現する際は、表現統一の観点から「×」「|」以外は使用しないでください。(「&」「and」「with」等)

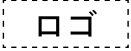



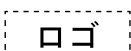


	「×」表記	「 」表記	記号なし併記 (記号が使用できない場合、又はグループ会社と併記する場合)
他社ロゴ			
グループ会社ロゴ	<p>NG</p>	<p>NG</p>	

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

当社が協賛していることの表現を下記ワードを用いて行う場合、使用想定ケースの考え方を参考にしてください。

本ケースでのロゴ使用に限っては文中使用とみなさず、点線のロゴ位置にブランドロゴを使用することが可能です。

協賛先でワードや表現方法が統一されている場合は、その点も考慮して検討してください。

ワード	使用想定ケース
Powered by 	他社が主催、かつ、当社が技術提供をする場合
Supported by 	他社が主催の場合
Sponsored by 	他社が主催、かつ、当社が資金提供をする場合
Presented by   presents	当社が主催の場合
Produced by 	当社が主催の場合
by 	(使用しない)

### ■ 配置のルール

下線(緑のライン)に合わせて配置してください。

(「by」の「y」ではなく「b」の下合わせ)

